

# 男女平等度 日本後退125位

【ジュネーブ共同】スイスのシンクタンク、世界経済フォーラム(WEF)は21日、各国の男女平等度を順位付けした「男女格差」(ジェンダー・ギャップ)報告を発表し、日本は調査対象の146カ国中125位だった。2019年12月公表版の121位を下回り、過去最低の順位。先進7カ国(G7)では79位のイタリアに大きく引き離され、東アジア・太平洋地域でも最下位だった。(3面に関連記事)

## G7、東アジアで最下位 政治・経済の格差深刻

### 男女格差報告の主な順位

2023年	22年	
1位	1	アイスランド
2	3	ノルウェー
3	2	フィンランド
6	10	ドイツ G7首位
12	6	ルワンダ
16	19	フィリピン アジア首位
43	27	米 国
57	94	ブラジル
105	99	韓 国
107	102	中 国
125	116	日 本 G7最下位
127	135	インド
131	127	サウジアラビア
146	146	アフガニスタン 全体最下位

本はアで138位と最低水準に沈み、経済でも123位にとどまった。両分野で女性進出が実現していない深刻な状況が、全体順位を押し下げた。前回22年7月公表の報告では全体で116位だった。

女性首相が依然誕生していないことや、議員・閣僚に占める女性の割合の少なさが足を引っ張り、収入格差や女性管理職の少なさが指摘された。一方でイ健康の両分野では、ほぼ平等が達成され

ウ 全体では首位からアイスランド、ノルウェー、フィンランドの北欧諸国が例年通り上位を独占。東アジア・太平洋地域では4位のニュージーランドがトップで、日本は105位の韓国、107位の中国にも後れを取っている。政治分野で日本より下位に位置するのは8カ国のみ。イランやアフガニスタンなど、教徒が多く女性の社会進出に消極的な国のほか、21年のクーデターで国軍が実権を握ったミャンマーなどだ。経済分野でも、20カ国・地域(G20)で日本より下位なのは133位のトルコ、142位のインドなどと新興国ばかり。両分野での日本の「非先進国」ふりが際立った。

左の記事を読んで下の問いに答えましょう。

- 1 空欄ア、イには「政治 経済 教育 健康」4分野のうちのどれかが入ります。それぞれ書きましょう。
- 2 空欄ウに入る宗教を書きましょう。
- 3 日本が男女平等度を上げるには、どうすればいいと思いますか。あなたの考えを書きましょう。

1

ア	イ
---	---

2

ウ
---

3

--

## NIEワークシートのこたえ（2023年6月26日公開）

◆ワークシート「男女平等度125位」  
2023.6.22付朝刊 1面 解答例

1 ア政治 イ教育

2 イスラム

3 自由回答